

視察施設の特徴

視察施設ごとの特徴や、施設種類による違いなどをまとめました。視察の際の参考にしてください。

1 視察施設ごとの特徴

1班	名称：白井ふじこども園	種類：認定こども園（幼保連携型）
<p>療育と保育を一体的に行う「インクルーシブ保育」を実施する認定こども園です。児童発達支援施設「てんでんこ」が併設されており、保護者が働いていても、児童発達支援と保育の両方のサービスが受けられます。</p> <p>令和5年度に保育所から幼保連携型認定こども園に移行しています。</p>		

2班	名称：こぞくら保育園	種類：保育所
<p>隣接地に小規模保育所と幼稚園が併設されている保育所です。併設されている小規模保育所は0歳児から2歳児が利用する施設で、卒園後（3歳以降）は隣接する保育所か幼稚園に通います。</p>		

3班	名称：ひまわりこども園	種類：認定こども園（幼保連携型）
<p>令和2年度に保育所から幼保連携型認定こども園へ移行した施設で、移行に併せ施設の建て替えを行っています。生後57日目から児童の受け入れが可能な施設です。</p>		

2 施設種類による違い

	保育所（保育園）	認定こども園（幼保連携型）
施設の性格	・就労などのため家庭で保育ができない保護者に代わって保育する施設	・幼稚園（教育）的機能と保育所（保育）的機能の両方を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設
職員の資格	・保育士資格が必要	・幼稚園教諭・保育士の両方の資格が必要
対象児童	2号（保育要件のある3歳から5歳） 3号（保育要件のある0歳から2歳）	1号（保育要件のない3歳から5歳） 2号（保育要件のある3歳から5歳） 3号（保育要件のある0歳から2歳）

保育園・認定こども園（幼保連携型）の一日の過ごし方（例）

